

企画展

会場：2階 展示ホール

被爆、終戦の翌年に広島で創刊された児童雑誌「ぎんのすず」は、色彩豊かな表紙や充実した内容で、全国の子どもたちに愛されました。また、発行元の広島図書は、女学生向け「青空」や幼児向け「プレイメート」などの雑誌や単行本の出版、児童映画の製作や自動車による移動図書館の運行など、復興へと歩み始めた時代に、児童文化の分野でさまざまな活動を行いました。

広島から子どもたちへ、夢と希望を届けた児童雑誌「ぎんのすず」をご紹介します。



ぎんのすず移動図書館



「プレイメート」
昭和25年3月号(黒崎義介 絵)



「銀の鈴」6年生
昭和23年9月号(清水良雄 絵)



銀の鈴文庫
「フランクリン」
細田民樹／著
昭和26年

銀の鈴文庫「ガリバー旅行記」
森田草平／著 昭和23年



「青空」
昭和24年10月号(岩崎良信 絵)



広島図書での編集作業

お問い合わせ・関連行事のお申込み

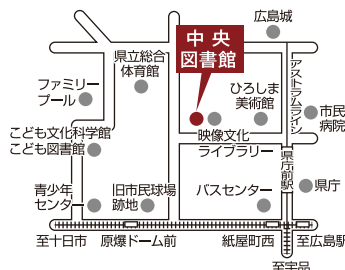
広島市立中央図書館

広島市中区基町3番1号

TEL 082-222-5542

FAX 082-222-5545

<https://www.library.city.hiroshima.jp/>



関連行事

会場：3階 セミナー室

申込：10月1日(土)9:00から受付開始

●講演会

「ぎんのすず」と戦後児童文化

戦後まもなく、全国各地で多くの児童雑誌が創刊されました。学年別の教育雑誌として刊行され、大きな人気を得た「ぎんのすず」の歩みや特色についてお話しいたします。

- 講師：武藤 清吾 氏(琉球大学教育学部教授)
- 日時：10月29日(土)14:00～16:00
- 定員：先着60名
- 申込方法：来館、電話、FAX、HPの専用フォームのいずれかから

*手話通訳・要約筆記が必要な方は10月7日(金)までにお申込みください。

●講座

「ぎんのすず」に載った童話や漫画

「ぎんのすず」には毎号、童話とともに漫画が掲載されました。浜田広介や長谷川町子など、誌面を彩った作家や漫画家、その作品の魅力についてお話しいたします。

- 講師：三浦 精子 氏
(児童文学者 ぎんのすず研究会代表)
- 日時：11月5日(土)14:00～16:00
- 定員：先着60名
- 申込方法：来館、電話、FAX、HPの専用フォームのいずれかから

*手話通訳・要約筆記が必要な方は10月13日(木)までにお申込みください。

関連上映

児童映画「ぼくらのゆめ」

昭和25年 ぎんのすず児童映画協会 22分 白黒 35mm
監督/田坂具隆、クラタ・フミンド(倉田文人)
(東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品)
*同時上映:「路傍の石」(田坂具隆監督 昭和13年)



- 日時：11月23日(水・祝) ①10:30～②14:00～
- 会場：映像文化ライブラリー 2階 ホール(169席)
- 鑑賞料：大人510円、シニア(65歳以上)250円、高校生250円、小・中学生無料
- お問い合わせ：広島市映像文化ライブラリー

TEL 082-223-3525

FAX 082-228-0312



「ぼくらのゆめ」より